

第2回 定例会のあらまし

平成16年第2回定例会が、6月8日から23日までの16日間の日程で開かれました。この定例会では、議長・副議長、各常任委員会委員などが選ばれ、新しい議会の構成が決まりました。

また、条例の一部改正など市長提出議案24件、議員提出議案6件（意見書4件）を審議し、討論（賛成〃自由民主党千葉市議会議員団、反対〃日本共産党千葉市議会議員団、市民ネットワーク）が行われ、市税条例の一部改正の専決処分など12件については、賛成多数により、市営住宅等設置管理条例の一部改正など16件については、全会一致により、原案どおり可決・承認・同意しました。議員提出議案の国民健康保険条例の一部改正、および第1回定例会で継続審査となっていた高齢者虐待の防止に関する条例の制定については、賛成少数により、否決しました。

なお、市政に関する一般質問が14人の議員により行われ、6月14日には、納税不正免除事件に関する緊急質問が、会派を代表して5人の議員により行われました。



千葉公園の大賀ハス（中央区）

就任あいさつ



議長 森 茂樹



副議長 中島 賢治

このたび、千葉市議会の議長ならびに副議長に就任いたしました。

市民の皆様におかれましては、日頃より市政ならびに市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

さて、現在の地方分権に向けた大きな潮流の中で、真に住民本位の行政主体として発展していくためには、それぞれの都市が、個性と魅力を競い合うような自主的・自立的な行政運営が今まで以上に求められることとなります。

私どもといたしましては、地方分権時代の確に対応するため、心も新たに市民福祉の向上と議会機能の充実・強化に全力を傾注して参る所存でございます。

どうか市民の皆様におかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。就任のごあいさつといたします。

可決した主な議案

《条例》

- *千葉市交通災害共済条例の廃止
交通災害共済事業を廃止するため、条例を廃止します。
- *千葉市保育所設置管理条例の一部改正
千葉市土気保育所を廃止するため、条例の一部を改正します。
- *千葉市立幼稚園設置条例の廃止
千葉市立土気幼稚園を廃止するため、条例を廃止します。

《千葉市・四街道市 合併協議会の廃止》

平成16年6月30日をもって、千葉市・四街道市合併協議会を廃止することについて、可決しました。

《財産の取得》

- *緑区平山町の若葉・緑環境事業所の建物を七億九千九百万円で取得します。
- *花見川区犢橋町の子和清水排水路排水処理施設を四億四千万円で取得します。

《工事請負契約》

- *美浜区新港の余熱利用施設新築工事を九億二百万円で、新築電気設備工事を二億五千九百万円でそれぞれ行います。
- *中央区要町地内他の国道126号椿森陸橋交差点改良工事を七億一千四百万円で行います。

《工事委託契約》

- *稲毛区黒砂3丁目地内他の新港横戸町線京成電鉄千葉線交差部工事（その3）を、十五億五千四百万円で委託します。

市議会の新しい構成決まる

議長 森 茂樹 副議長 中島 賢治

常任委員会

常任委員会
ごとに
議席番号順
で掲載
氏名
住所
所属会派
当選回数

保健下水道委員会 (12人)

所管：保健福祉局、下水道局

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
なかのりとし 中野渡時男 美浜区高浜4丁目 新設五月会 2回	はせがわひろみ 長谷川弘美 花見川区花園町 市民ネットワーク 1回	ふくだに 福谷 章子 緑区おゆみ野南3丁目 市民ネットワーク 1回	くろみや 黒宮 昇 若葉区千城台東3丁目 千葉市議会公明党 1回	うらま 宇留間又衛門 中央区稲荷町3丁目 自由民主党千葉市議会議員 1回	おぎわ 小関 寿幸 中央区天宮3丁目 日本共産党千葉市議会議員 2回
いしばし 石橋 毅 若葉区原町 自由民主党千葉市議会議員 5回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回	かたが 片田 幸一 千葉市議会公明党 8回	ししら 穴倉 清蔵 若葉区湊町 自由民主党千葉市議会議員 9回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回

経済教育委員会 (11人)

所管：経済農政局、教育委員会、農業委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	かわむら 川村 博章 花見川区天戸町 自由民主党千葉市議会議員 1回	なかし 中島 賢治 中央区南生実町 自由民主党千葉市議会議員 2回	やまぐち 山口 晴美 美浜区磯辺5丁目 市民ネットワー ク 2回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回
あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回	あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回

総務委員会 (11人)

所管：総務局、企画調整局、財政局、市民局、会計室、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、議会、他の常任委員会の所管に属しない事項

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
よしもち 米持 克彦 美浜区磯辺4丁目 自由民主党千葉市議会議員 5回	あき 奥井 憲興 稲毛区小中台町 千葉市議会公明党 1回	のりおき 武田 香織 花見川区稲荷町 新設五月会 1回	つよし 常賀かつ子 稲毛区長沼町 市民ネットワー ク 2回	もてき 茂手木直忠 稲毛区磯辺1丁目 自由民主党千葉市議会議員 4回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回
いなき 稲垣 昌彦 中央区稲荷町3丁目 千葉市議会公明党 8回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回

環境建設委員会 (11人)

所管：環境局、建設局、水道局

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
あがわ 小川 智之 中央区加曾利町 自由民主党千葉市議会議員 2回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回				
あがわ 小川 智之 中央区加曾利町 自由民主党千葉市議会議員 2回	あさな 福永 洋 中央区大森町 日本共産党千葉市議会議員 6回				

都市消防委員会 (11人)

所管：都市局、消防局

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回					
あな 小柳 輝信 稲毛区小仲台6丁目 自由民主党千葉市議会議員 3回					

会派構成 (平成16年7月14日現在) 議員定数56人			
会派名	人数	役員	構成
自由民主党 千葉市議会議員団	22	幹事長 三須 和夫 副幹事長 相談役 石橋 毅 川村 博章 小島 賢治 中野 弘 木村 正信 清野 裕三	副幹事長兼会計幹事 小川 智之 谷戸 俊雄 森 茂樹 橋本 登 向後 一夫 穴倉 清蔵
新政五月会	11	幹事長 伊藤 晶 副幹事長 相談役 立石 悟 武田 香織 佐々木久昭 佐々木義男	会計 納元 政幸 斎藤 肇 布施 貴良
千葉市議会公明党	8	幹事長 内藤 靖夫 黒宮 昇 片田 幸一	会計幹事 川岸 俊洋 近藤千鶴子
市民ネットワーク	7	幹事長 高野 晴美 小西由希子 山口 晴美	会計 福谷 章子 長谷川弘美
日本共産党 千葉市議会議員団	6	幹事長 福永 洋 中村 公江	会計幹事 柳田 清 木田 文代
21世紀クラブ	2	幹事長 竹内 正巳	会計 西巻 義通

議会運営委員会 13人

委員長 三須和夫
副委員長 伊藤 晶
委員 長谷川弘美、小川智之、中野渡時男、納元政幸、石橋 毅、向後一夫、米持克彦、木田文代、山口晴美、山崎 晶、山崎 晶

特別委員会

大都市税財政制度・
地方分権調査特別委員会 13人
委員長 黒宮 昇
副委員長 黒宮 昇
委員 小川智之、三瓶輝枝、布池貴良、清野裕三、中村公江、川岸俊洋、米持克彦、宇留間又衛門、常賀かつ子、武田香織、中野渡時男、黒宮 昇、谷戸俊雄、高野晴美、中野渡時男、石井茂隆

各種委員

監査委員 佐々木久昭、福永 洋、木村正信、松戸敏雄、前沢勝之、橋本 登、松戸敏雄、石橋 毅
農業委員会委員 小西由希子、中野 弘、立石 悟、小関寿幸、近藤千鶴子、片田幸一
表彰審査委員会委員 米持克彦、奥井憲興、中島賢治、森 茂樹
社会福祉審議会委員 中野渡時男、森 茂樹
民生委員推薦会委員 三瓶輝枝
保健所運営協議会委員 宇留間又衛門、三瓶輝枝
廃棄物減量等推進審議会委員 石橋 毅、近藤千鶴子、森 茂樹、常賀かつ子、中野渡時男、木田文代

納税不正免除事件に関する緊急質問

6月14日に5会派(自由民主党千葉市議会議員団、新政五月会、千葉市議会公明党、市民ネットワーク、日本共産党千葉市議会議員団)の代表から、質問が行われました。

Q 逮捕・家宅捜索に至るまでの経緯について伺います。

A 元納税管理課長が平成14年6月17日に県議の平成13年度市民税第4期滞納分を職員に命じ、税務部長の決裁を受けず、独断で処分停止を行った。16年1月5日および16日に職員の事情聴取を行った。1月7日から県議との納付交渉を続け、1月9日には本税が完納された。また滞納金の時効については内部職員への聞き取り調査を進め、本税とともに滞納金の催告を12年12月19日に行った事実を確認し、滞納金の時効はないとの判断を下した。その後、県議側と税務交渉を重ね、滞納金の時効はないとの確認がとれ、全額納入が決定。あらたに納税約書を受理。また、差し押さえについては地方税法などに基き、的確に対応することが肝要であることおよび社会的な影響も大きいことなど総合的に判断した結果、資産差し押さえとした。

Q 市民に対してどのように情報回復を行うのか。

A 最大の情報回復は税務行政のみならずすべての行政において、公平公正な仕事を全職員が行い、その一つ一つの積み重ねの中が多回失った市民の信頼を回復していくしかない。

Q 再発防止については、すでに6年2月から二重照会制度および進行管理による事務処理を執行できない方法に改善している。また、税務職員としての意識の高揚、適正な事務執行の研修を行った。引き続き職員の研修充実、オン・オフの改善などについても検討していく。

Q 公務員による電磁的記録不正行為および供用の罪は、刑法で10年以下の懲役または百万円以下の罰金というか。

A 公務員による電磁的記録不正行為および供用の罪は、刑法で10年以下の懲役または百万円以下の罰金というか。

なり重い刑罰で、重大な犯罪であるのに市長はなぜ元課長を告訴しなかったのか。

A 事件に關与した職員に対する処分社会的な制裁も十分に受けており、そのうえ告訴はどうかという気持ちがあった。そのことが、甘かったという批判は受けざるを得ない。

Q 分納約書と差し押さえるの確率について伺います。新聞報道では、花沢課議の毎月の返済額が五十万円、差し押さえる全額は三百五十万円というが、2年間の全額回収は無理ではないか。時効中断の差し押さえるではなく一億六千万円に相当する財産を差し押さえる、誓約不履行時には公売し、回収するべきと考えるが、なぜ過少の差し押さえたのか。

A 差し押さえるについては分納約書が確実に履行されるのが最善であることからの履行を担保するために行った。分納約書の期間は、地方税法で1年と定められているが、理由のあるときはさらに1年を伸ばすことができるよう定められており、この期間内に納付するよう整理した。現時点では的確に延滞金を短期間で徴収することで最善の努力を盡している。

Q 二人が逮捕された容疑を、市当局も把握していたのか。

A 責任については意識していたが、公電磁的記録不正作出・同供用については、私自身は全く最近まで知らなかった。捜査当局の最後の段階でこの問題もあると聞いた。不明を皆さんにお詫びしなければならぬ。

Q 市民の注目点は、約一億六千万円分の納税約書があったが、この税を徴収できずであると思うが、市当局の覚悟と理解を伺います。

A 市民の信頼回復のために一番大切なことであり、この2年間全力を挙げたことである。公平公正な行政を行い、市民の信頼を回復していく、その努力が私に課せられた一番の責任である。

Q 逮捕者が出た問題に対応する職員が土日に市役所になかった市の危機管理体制の不備を指摘する。この対応の適否について市長の考えを伺います。

A すべて捜査局からの書類の押収なら一度は切替、捜査機関に委ねられたので、私としてはあえて職員を出動させることはしなかった。

Q 元課長を、結果として、花沢課長の免職を行ってボジションに配置した責任は市長にあるのではないかと、以前から滞納や時効になることを知っていたのではないかと、便宜を図るための人事ではなかったのか。

A 人事は公平公正に行っており、人事を行う際、元課長と課長の関係は一切判断の外であり、人物などを判断して適正に行ったものである。結果的にこういう事実を起したということについては任命者として責任があるものと考えている。

Q この他に次のような質問などがありました。

A 責任に当たるかどうかの見解について。

A 税務事務について内部監査あるいは外部監査を求めたい。

A 逮捕を事前に予期していたかについて。

A 市長は税金の公平性を求めることがこれほど重大な問題であり、市民の信頼を回復するために、あらゆる手段を講じていると、あらゆる手段を講じていると十分承知しているはずではないか。

委員会審査・調査から

常任委員会

6月15日に開かれ、市長提出議案22件、議員提出議案1件、請願6件、陳情6件を審査しました。

その結果、すべての市長提出議案は可決となり、議員提出議案は否決となりました。

また、請願・陳情は、採択送付1件、不採択8件、継続審査3件となりました。

なお、閉会中の5月17日に保健下水委員会が開かれ、議員提出議案の高齢者虐待の防止に関する条例の制定について審査し、否決となりました。また、陳情1件を審査し、不採択となりました。同日、経済教育委員会が開かれ、陳情1件を審査し、不採択となりました。



環境建設委員会審査風景

総務委員会

余熱利用施設新築工事請負契約など議案6件、請願2件、陳情1件を審査し、アイススケート場の整備について、利用者数および収益の見込み、初心者が楽しむための工夫、ま

た指定管理者制度について、募集のスケジュール、アイススケート場運営実績を有する業者の有無、このほか財政危機の中で建設を急ぐ理由、温浴施設の整備内容などについて質疑がありました。

▼花沢三郎県議会議員の延滞金全額徴収を求める請願 採択送付
▼障害者の切実なねがいである雇用の促進に関する請願 不採択

保健下水委員会

保育所設置管理条例の一部改正など市長提出議案2件、議員提出議案1件、請願2件、陳情2件を審査し、土気保育所の廃止について、保護者への説明方法、説明に対する意見や要望内容、子育ての経済的負担軽減を求め声への対応、安心して預けられる公立保育所整備の必要性などについて質疑がありました。

また、議員提出議案の国民健康保険条例の一部改正について、保険料引き下げ額を一万円とした算出根拠、保険料引き下げによる国保財政への影響額および財源などについて質疑がありました。

なお、閉会中の5月17日に議員提出議案の高齢者虐待の防止に関する条例の制定および陳情1件を審査し、同条例について、虐待と判断する根拠、本市が高齢者虐待問題に対応していくための指針の有無などについて質疑がありました。

▼無免許マッサージから住民の命と健康を守るための請願 不採択
▼障害者の切実なねがいの実現を求める請願 不採択

▼千葉市立土気保育所の廃止・民営化に関する陳情 不採択
▼千葉市立土気幼稚園「跡地」に新設が計画されている保育所の運営法人選定についての陳情 不採択

環境建設委員会

新港横戸町線京成電鉄千葉線交差点工事(その3)に係る工事委託契約など議案7件、請願1件を審査し、同工事委託について、全体工事費の内訳、今後の工程、委託金額の積算方法および妥当性、委託事業者に対する本市の監督方法、函体(鋼製函型部材)を埋設する工法、施工により鉄道に与える影響および安全対策などについて質疑がありました。

▼蘇我駅に公衆トイレの設置を求める請願 不採択

経済教育委員会

市立幼稚園設置条例の廃止など議案2件、請願1件、陳情2件を審査し、公立と私立幼稚園の保護者負担額の比較、保育年数の延長と入園児の減少に対する見解、保護者説明会の状況、保護者などが廃園に理解を示さない理由、廃園に至る意思形成過程での情報提供ならびに情報公開の状況、同地区にある私立幼稚園の受け入れ状況と教育方針の相違点などについて質疑がありました。

なお、閉会中の5月17日に陳情1件を審査しました。

▼障害者の切実なねがいである教育条件の整備に関する請願 不採択
▼千葉市立土気幼稚園の存続に関する陳情 不採択
▼早期からの適切な性教育の実施を要望する陳情 不採択
▼千葉市立土気幼稚園廃園の延期に関する陳情 不採択

都市消防委員会

蘇我特定地区北側横水路改修工事(その2)に係る工事請負契約など議案5件、陳情1件を審査し、交通渋滞への対策、球技場および商業施設への予想来場者数、希少植物を移植することについての見解、当該工事による地価への影響、工事費用の負担内訳、国道357号線と西千葉駅

稲荷町線との交差部の形状などについて質疑がありました。

なお、次のとおり所管事務調査が行われました。

- * 社会福祉法人鳳雄会が設立する児童福祉施設について (保健下水委員会)
- * 京葉道路蘇我インターチェンジのフル化事業について (環境建設委員会)
- * 小学校の適正配置(統合)について (経済教育委員会)
- * (仮称)蘇我ハーバーシティの概要について (経済教育委員会)

大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

5月19日に開かれ、平成16年度国家予算に関する要望などの経過報告について、調査しました。

可決した意見書

議員提出議案として4件の意見書を審議し、可決しました。可決した意見書は、関係行政機関に提出しました。

- 森林整備の推進により京都議定書の排出削減目標の達成を求める意見書
- 独立行政法人都市再生機構による良好な居住環境の整備に関する意見書
- 介護予防対策の拡充を求める意見書
- 教育基本法の改正について徹底論議を求める意見書

一般質問

市政に関する一般質問が、6月17日から23日までの5日間に14人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。

- 国際交流について
- 次期5か年計画の策定について
- 花沢三郎県議会議員市県税免除問題について
- 雇用施策について
- 次世代育成支援行動計画とひとり親家庭自立促進計画について
- 引きこもりについて
- 戦略的環境アセスメントについて
- 蘇我特定地区の整備推進について
- 都市再生と蘇我臨海開発について
- 公営住宅の管理業務の民間委託について
- 花島公園について
- 教育委員会会議のあり方について
- 教育におけるノーマライゼーションについて
- 歴史教科書資料本(副読本)の自虐記述について

永年勤続議員表彰

永年にわたり市政の振興に努められた功績により、全国、関東、千葉県市議会議長会から次の議員が表彰され、6月8日の本会議場において表彰状が伝達されました。

在職30年以上特別表彰 宍倉清藏	在職25年以上特別表彰 糸日谷義男	在職15年以上表彰 米持克彦
---------------------	----------------------	-------------------

感謝状の伝達

全国、関東市議会議長会から中本貞夫議員、木村正信議員にそれぞれ感謝状が授与され、6月8日の本会議場において伝達されました。

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成16年第3回定例会は9月9日(木)に開会する予定です。
本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。
傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。
会議日程は9月6日(月)に決まる予定です。

千葉市議会ホームページのお知らせ

本市議会のホームページでは、会議日程や会議の結果、市議会のしくみ、議員名簿、本会議や予算・決算審査特別委員会の生中継や録画放映などがご覧になれます。
さらに会議録の検索と閲覧もできます。

ホームページアドレス
<http://www.city.chiba.jp/gikai/>



表紙の写真は、千葉公園の大賀ハスの様子です。ハス池には、約2千年前の種から芽生えた大賀ハスが、6月中旬から7月下旬にかけて清楚な花を咲かせます。このハス池の畔にある蓮華亭は、ハスの花をイメージしており、屋根は2枚のハスの葉をかぶせたようなデザインです。建物の中には、大賀ハスの資料が展示してあります。

また、園内では、春には桜、初夏にはフジ、秋にはイチヨウやモミジなど、四季を通じて風情を楽しむことができます。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎043(245)5472